





































# 子規全集

## 偉大なる『子規』の人生と氣魄を見よ！

偉人の倖ある文壇人！それは子規を措いて他に誰があらふ。彼は皓々白雪の如き人格者。現前せる死を恐れずよく俳句三百年の積弊をくつがへし歌壇一千年の迷夢を打破した。彼は俳諧では芭蕉と並立し、歌壇では萬葉の歌聖と相對峙す。その業績、その氣魄は彼の隨筆、小説、俳句、短歌を通じて鏘として聲を發す。特に彼がその園圃より輩出した漱石、左千夫、節、鳴雪、虛子、梧桐との交遊は古聖哲に見るの情懷を有す。此偉大なる子規の廉價全集を江湖に贈り得ること大光榮とする所だ。



正岡子規

### 偉大なる文壇百年の宗師を仰ぐ

漱石の師匠 中村吉蔵  
子規は漱石の師匠、若くは指導者云つたやうな地位にゐた人でもある。我々の青年時代に天下を風靡した新俳句の團圓に迫り、その歌を頌揚し、更に萬葉の古調に迫るやうな意味で、つねに懐ひ出される傑出したる人である。殊にあの長年の激しい病苦を關つて、その戦ひの間からあつた仕事を生み出したといふ事が最も深く我々を感動させる。

子規の先覺的な頭  
子規と言へば、あの情熱的な併し鋭い大きな眼玉、あの頃のホト、ギスを中心とした俳壇が生氣に溢れてゐたことを思ひ出し、子規は半分腐れたからだを引きずりながら、俳壇のみなと時歌壇の上で闘ひました。子規は俳人としては非常に頭のいい人であつたと思はれます。次に來るべきものをやうに時和歌では來るべき萬葉時代、俳句では來るべき室町時代の先導者であつた子規が、若し

第一回配本  
開始日五十二月六

## 隨筆篇

第八卷 上

病苦が次第に増つて來て、遂に死に就いた。その死の直前、子規は「隨筆」を執筆した。これは、子規の人生の最後の日、その死の瞬間に書かれたものである。この隨筆は、子規の人生の回顧、その死の覚悟、そして、後世に遺したメッセージである。この隨筆は、子規の人生の最高峰を示すものである。

五月雨や上野の山も見あきたり  
五月雨や柳へこりつくものゝ憂  
五月雨や背戸に落ちあふ傘と傘  
根だ揃く川邊の宿や五月雨  
病人に飼ひの足舞や五月雨

子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷  
子規全集 第十八卷

本 見 客 内  
呈 進

第一卷	俳句全集 (第一卷)
第二卷	俳句全集 (第二卷)
第三卷	俳句全集 (第三卷)
第四卷	俳論及俳話 (第一卷)
第五卷	俳論及俳話 (第二卷)
第六卷	歌論歌話及評論
第七卷	和歌新體詩漢詩
第八卷	隨筆 (第一卷)
第九卷	隨筆 (第二卷)
第十卷	小説紀行小品
第十一卷	少年時代創作篇 (第一卷)
第十二卷	少年時代創作篇 (第二卷)
第十三卷	少年時代創作篇 (第三卷)
第十四卷	著書 (第一卷)
第十五卷	著書 (第二卷)
第十六卷	著書 (第三卷)
第十七卷	書簡 (第一卷)
第十八卷	日記及年譜 (未發表作品を含む)

全八十卷 普及版 一冊一圓

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

子規全集 第十八卷

改 造 社  
東京芝居  
愛宕下町  
八四〇二

切 日 十 月 七

## 藝術の最高峰を示す本全集を仰げ！



[illegible][illegible][illegible]

朝鮮演藝館地鎮祭 朝鮮演藝協会は二十  
九日午後二時より近く地鎮祭に着手す。演藝館の地鎮祭を特するこ  
となつた。

[illegible][illegible][illegible]

**巡査に暴行を働き**

**支那密漁人逃亡**

平北宣川の沿岸方面を  
頻りに荒しまわる


【平賀特電】平北濱道沿河縣北源郷、李順興外云々の電報が二十日申渡しの激震を海防五五五船安人の密漁艇にいちめられたとの報告を受けた南支那海防隊第五分隊司令官松本少佐は直に艦艇にて右縣邊の調査に臨み十九日午後五時、支那人密漁艇三隻と衝突し、翌十六日晨密漁艇を曳引して岸途中で、支那人の密漁艇を突破追跡中の小川巡査を殴打し、海中に投げ込み、朝鮮人巡査をもさんど殴打して昏倒せしめ逃走を企てたので、密漁艇に投げ込まれた密漁小船、船民はビールを群衆につぎながら退却したが、遂に逃走せしめた引離き擲物である。

[illegible]

30 30  
 32 打 30  
 7 得 打  
 9 2 得  
 1 2 得  
 2 3 得  
 2 4 得  
 1 失 旅

中 在 三  
 一 投 一 堀 石 右 石 進 二 投 二

選手名	成績	打率
岩田 幸吉	11	66.6
井本 友次	11	66.6
岩田 幸吉	11	66.6
井本 友次	11	66.6
岩田 幸吉	11	66.6
井本 友次	11	66.6
岩田 幸吉	11	66.6
井本 友次	11	66.6
岩田 幸吉	11	66.6
井本 友次	11	66.6



山のにきやか山頂を受  
大根と△△の根  
△△の根  
△△の根  
△△の根

スナナア

▲遊園地各  
地を旅行を打  
つ時三十分  
間遊園地の  
取組む  
取組む

**中川** 中川市東町四丁目五番五号 電話二九七五

**轉** 手引市井出 上京市井出 上京市井出 上京市井出

**給** 特別優待致しす

**給** 特別優待致しす

**大日本** 大日本 大日本 大日本

**京日** 京日 京日 京日

**茶園** 茶園 茶園 茶園

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**南京** 南京 南京 南京

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**南京** 南京 南京 南京

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給


**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

**恩給** 恩給 恩給 恩給

**給** 給 給 給

**古本** 古本 古本 古本

[illegible][illegible][illegible]

選手名	試合 回数	打点	得点	打率	選手名	試合 回数	打点	得点	選手名	試合 回数	打点	得点
佐藤朝平	8	31	10	0.3225	武部龍平	10	91	9	0.3333	渡上信博	13	0.2500
竹田山水	8	32	9	0.2727	油井代井	9	41	7	0.2332	佐藤信實	7	0.2500
	8	23	7	0.2692		10	31	9	0.2307	上野正	4	0.2500
	8	22	6	0.2500		10	31	7	0.2162			

**恩給金融**

直接採用の恩給の方は、朝及年暮に恩給金を受け取れる。恩給金に不足する場合は、本位上から補助金を支給する。

**親切第一 誠實一貫**

川村 九郎 田 森 耕

[illegible]

スペイン機  
なほ不明  
アゾレス島  
西北を捜査中

「ドリス」が北回線日誌、アメリカに  
送附した際、船中のため出航した

咸南の野獸疫  
初發以來四十頭

悲慘を極めてゐると

金子氏の土産話

咸南の野獸疫は發生した當時、朝鮮後  
方總督府の命令で、同地に出張があつた  
金子氏は、半島南部の咸南に於て、  
この病の流行に當面して一晩中も同様  
流行し、一ヶ所暫く置いて  
咸南の衛生を調査せしめたといふ  
事實がある。その時にもあると云ふ  
疫病を記録するもので、左の如く

スペイン語はその地方を略す  
つきアゾレス島、北回線百マイルの間に  
飛來を待てである。また三隻の船の  
乗組は咸南の咸南にわたり渡り、  
を渡した。なほ別に海に渡る  
探査のため二十四日分ちからタチ  
ボを出航した

損害總額  
六百萬圓

樺太山火事  
の總勘定

[illegible][illegible]

**野球界**

七月十七日  
號四第  
東京博文館  
電話二四〇

專門審判官を中心にした  
**リーグ戦批判座談會**

思つまる接戦にファンを熱狂せしめし  
**早慶大野球戦接戦記**

其他悲壯なる早慶選手の感想談  
熱感促はるゝ名譽無失落哉!!



**飛行家**

飛行者の内案  
飛行家の方々  
法を以て群小に示す  
代筆者へガ坊主申込大數内音書付來無  
陸軍飛行部 石川清三氏事務所出版部

鮮地圖販賣元は(一覽表進呈)  
京成長谷川町小林又七朝鮮地圖部

